



森町立泉陽中学校だより

平成23年12月22日発行(号外)
(学校だよりは全職員でつくります)



教育目標「志をもち鍛える たくましい生徒」

重点目標「学び・伸ばし・磨く」

2学期を創り出せましたか

校長 中村 和久

2学期の始業式で、私は「2学期は来て、去っていくものではない。自分自身が創り出すものだ」という話をしました。2学期が終わろうとしている今、「生徒の心に、どれだけ『自分が創り出した満足感』があるのだろうか」と思いました。そんな意味を含め、12月22日の終業式では、以下のような話をしました。

「2学期が終わろうとしています。8月30日、2学期の始業式、私がどんな話をしたか覚えていますか。私は、『2学期は来るものではなく、創り出すもの』『陽光祭や泉祭を通じて、2学期を創り出せ』『知らぬ間に過ぎていく2学期にするな』さらに、『行事を通じて団結力を養うとともに、個人個人も“自己主張”することで成長せよ』こんな話をしました。覚えているでしょうか。

私は、陽光祭や泉祭を通じ、泉陽中学校の生徒たち、つまり君たちの頑張り、努力、一つのことに突き進む団結力には、本当に驚かされました。君たちの力が、この泉陽中学校の素晴らしさを、森町内外に知らせてくれました。

今思い出しても、陽光祭でのソーラン節を終わった後の君たちの感動の涙、泉祭での演劇や演奏、そして全校合唱は、私の心を熱くさせてくれます。君たちは、立派に『2学期を創り出して』くれました。

また、個人としてはどうだったでしょうか。学習に、委員会活動や学級活動に、部活動に、そして清掃等の各種活動に、さらには友情にと、自分として納得のいくかわり方ができましたか。2学期をただ何となく過ごすのではなく、『自分で創り出せた』でしょうか。2学期を100%の力で創り出した人、80%で創れた人、30%の力で創った人、それぞれでしょう。

さて、私ははじめに、『2学期が終わろうとしています』と言いました。しかし2学期は、今日で終わりではありません。

ん。冬休みの最終日まで、つまり1月5日まで2学期なのです。あと14日間あります。『14日間しかない』と思うか、『14日間もある』と思うか、人それぞれでしょう。私は、ここで提案します。ぜひ、残りの14日間を大切に、2学期を有終の美で飾ってください。

この後、各学級に戻り、2学期の総括となる通信票が渡されるでしょう。通信票の数字は、1から5、いくつでもよいと思います。1なら1、2なら2に、君たち一人一人の努力の汗のにおい、汗の光が輝いているなら素晴らしいと思います。逆に、5であったとしても、そこに努力の汗のにおいもせず、汗の光の輝きもないものであったなら、汗の跡のある1や2よりも価値が低いものになるだろうと思います。もし、そこに汗のにおいや光が感じられなかったなら、この冬休みに挽回をし、2学期をしめくくってください。『2学期、勉強が足りない』って思ったのなら、『冬休みを通じて、午前中と夜は、すべて勉強し、1日6時間やる』でもいいでしょう。『冬休みは、3日間は徹夜する』でもいいでしょう。これは、勉強だけには限りません。2学期を満足のいく状態で終わってください。

そして、3学期も自分の力で『創り』、立派に『終わり』、今年度を『素晴らしい1年間だった』と思えるような人生の1ページにしていってください。」



泉祭「
美術作品
展示発表
の宇宙」

今年も1年 お世話になりました

泉陽中学校 今年1年にふさわしい漢字 H23年版

もう恒例となりましたが、泉陽中学校の今年一年を振り返り、それにふさわしい漢字を生徒たちに考えてもらいました。

No.	氏名		No.	氏名		No.	氏名	
1	猪原 勇樹	今	1	岩田 拓海	節	1	池田 樹里	輝
2	岩田 恵実	歴	2	岩附 龍生	燃	2	石塚 綺彩良	協
3	岩田 百華	心	3	小田 晨馬	感	3	奥宮 実咲	刻
4	岩附 宗一郎	記	4	加藤 慎也	楽	4	小澤 啓佑	継
5	奥宮 美帆	心	5	加藤 史也	学	5	小澤 飛翼	五
6	奥宮 佑香	祝	6	木下 美月	新	6	近藤 優	念
7	小澤 飛呂斗	明	7	北島 和	思	7	三郷 大輝	記
8	木下 春人	輝	8	近藤 瞭	周	8	鈴木 喬也	節
9	栗田 莉那	輝	9	佐々木 萌	祝	9	竹下 透哉	創
10	齋木 まなみ	創	10	杉本 季生	変	10	西森 倭茄	節
11	佐々木 堇	輝	11	田上 史朗	祝	11	藤川 未彩	心
12	清水 龍	編	12	竹下 加純	変	12	丸尾 美咲	記
13	竹下 至	志	13	竹下 翔大	学	13	宮本 優	継
14	竹山 広人	祝	14	竹下 柚紀	祝	14	森下 莉英	協
15	萩原 悠斗	心	15	竹下 瑠莉	学	15	家城 英佳	同
16	ヒガ ユリエ	光	16	長坂 樹里	五	16	山田 沙朋	継
17	増田 大和	志	17	花嶋 圭	虫			
18	森下 晃典	嬉	18	早馬 司	感			
19	森下 紘樹	刻	19	藤塚 雅人	記			
20	山本 有貴	祝	20	牧野 真人	想			
21	渡辺 潤希	歴	21	松浦 可奈	再			
			22	三澤 宏哉	変			
			23	渡邊 元登	充			
			24	渡辺 祥真	真			

- ・ 1位「祝」、2位「心」「輝」「記」という結果でした。
- ・ 今年は創立50周年が印象に残る生徒が多く、上位以外の漢字を選んでも、その理由が多く挙がりました。
- ・ 昨年目立った生徒個人としての1年でなく、学校全体のことそれぞれの生徒は考え漢字を選ぶことができたと思います。
(教務主任 原田修)

年末恒例、焼き芋大会



泉陽中学校名物、年末恒例の「焼き芋大会」を去る12月16日（金）にグラウンドで行いました。

この焼き芋大会は、この時期に校内で拾い集めた枯れ葉や枯れ木を燃やすついでに芋を焼いたことから始まったものですが、現在は地域の方から木っ端を寄贈していただき、焼き芋をみんなで楽しむ行事になっています。今年度も葛布の木下さんから木っ端を分けていただき、グラウンド3カ所で焚き火をして熾火を作り、全員分の芋を焼きました。



また、焼き方については今年も黒石の澤口さんに御指導いただきました。

おかげさまで、生徒も職員もみんな笑顔の花が咲く楽しいひとときを過ごすことができました。ありがとうございました。



1年生親子学級 しめ縄づくり



1年生の親子学級「しめ縄づくり」も、12月16日にランチルームにて行いました。大鳥居の鈴木さんを講師にお招きし、親子で力を合わせ縄を縛うところから始めて立派な注連飾りを完成させました。来年のお正月にはこの手作りのしめ縄が、皆さんの自宅の玄関を飾ることになるでしょう。いつもの年とは少し違った新鮮な気分になれるといいですね。

（教頭 寺田敦朗）



文化面での生徒の活躍

今年度に文化面で優れた成績を納めた生徒たちの実績を御紹介します。下の一覧表のように、多くの生徒たちが様々なコンクールで表彰されました。(表彰担当：川村恵子)

分野	審査、大会名等	受賞者 (○内は学年)
国語	磐周文集 磐周特選	森下紘樹① 渡邊元登② 木下美月② 家城英佳③ 奥宮実咲③ 三郷大輝③
	森・袋井地区入選	奥宮美帆① 佐々木堇① 岩田百華① 栗田莉那① 木下春人① 齋木まなみ① 岩附宗一郎① 花嶋 圭② 近藤 瞭② 田上史朗② 竹下柚紀② 岩附龍生② 松浦可奈② 山田沙朋③
	読書感想文 磐周特選 森・袋井地区入選	家城英佳③ 岩田恵実① 岩附宗一郎① 北島 和② 木下美月② 山田沙朋③
	漢字検定 2級	家城英佳③
	準2級	小澤啓佑③ 宮本 優③ 山田沙朋③
	3級	奥宮実咲③ 鈴木喬也③ 近藤 優③
	4級	丸尾美咲③ 田上史朗② 齋木まなみ①
5級	岩田恵実① 栗田莉那① 佐々木堇① 竹下翔大② 奥宮美帆① 岩田百華①	
席書コンクール	山田沙朋③ 家城英佳③ 長坂樹里② 森・袋井地区入選 渡邊元登② 奥宮美帆① 岩田百華①	
社会	税の作文 磐周優秀賞	山田沙朋③
理科	理科研究作品 地区特選	岩田恵実① 杉本季生②
	地区入選	木下美月②
	磐周金賞 磐周銅賞 県学生科学賞出品	岩附宗一郎① 池田樹里③ 岩附宗一郎①
英語	森・袋井地区大会 英語話し方能力研究大会	家城英佳③ 自作スピーチの部1位 磐周地区 1位 西部地区 4位 県 審査員長賞
	英語検定 3級	小澤啓佑③ 宮本 優③ 山田沙朋③ 鈴木喬也③
	4級	近藤 瞭② 森下莉英③
5級	早馬 司②	



① 1月15日(日)に今年度2回目のPTA資源回収を実施します。よろしく御協力のほどお願いいたします。

② 1月20日(金)は校内持久走大会を実施します。学校北側の周回コースと校舎周りを利用したルートを走ります。みなさんの応援をお願いします。

③ 1月26日(木)に1年生が県主催事業「子ども文化芸術鑑賞」で静岡のグランシップ中ホールにてオーケストラ(川瀬賢太郎指揮:日本フィルハーモニー交響楽団)の生演奏を鑑賞します。本物の芸術に触れることのできる貴重な機会になると思います。